

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 (平成27年9月30日)	前連結会計年度 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産	6,632,128	6,295,653
固定資産	4,348,833	3,056,005
有形固定資産	4,085,839	2,812,215
無形固定資産	33,374	29,110
投資その他の資産	229,620	214,678
資産合計	10,980,962	9,351,658
負債の部		
流動負債	4,755,605	4,766,423
固定負債	1,685,873	855,271
負債合計	6,441,478	5,621,694
純資産の部		
株主資本	4,499,231	3,695,106
資本金	464,817	464,817
資本剰余金	557,563	557,563
利益剰余金	3,587,448	2,782,629
自己株式	△110,597	△109,903
その他の包括利益累計額	40,252	34,857
その他有価証券評価差額金	34,327	34,048
為替換算調整勘定	5,924	808
純資産合計	4,539,483	3,729,963
負債純資産合計	10,980,962	9,351,658

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 平成26年10月1日から 平成27年9月30日まで	前連結会計年度 平成25年10月1日から 平成26年9月30日まで
売上高	9,170,493	7,863,590
売上原価	5,645,141	4,769,736
売上総利益	3,525,351	3,093,853
販売費及び一般管理費	2,147,615	1,905,113
営業利益	1,377,735	1,188,739
営業外収益	64,854	84,482
営業外費用	42,271	28,708
経常利益	1,400,318	1,244,513
特別損失	644	45,465
税金等調整前当期純利益	1,399,674	1,199,048
法人税、住民税及び事業税	470,627	509,895
法人税等調整額	26,165	△24,325
少数株主損益調整前当期純利益	902,880	713,478
当期純利益	902,880	713,478

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 平成26年10月1日から 平成27年9月30日まで	前連結会計年度 平成25年10月1日から 平成26年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,142,682	463,003
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,477,202	△313,474
財務活動によるキャッシュ・フロー	242,995	203,071
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,736	23,198
現金及び現金同等物の増減額	△87,786	375,799
現金及び現金同等物の期首残高	1,487,349	1,111,550
現金及び現金同等物の期末残高	1,399,563	1,487,349

展示会出展のご報告

本年度は「ハイグレードタイプ Aシリーズ」の発売開始に伴い、積極的にPR活動を行ってきました。国内の展示会では、ひとつとくまのテクノロジー展（名古屋）、国際カーエレクトロニクス技術展（東京）にてAシリーズのデモンストレーションを行い、多くのお客様に体感していただくことができました。

特にバッテリー試験を意識した最大3.5m/sの高速衝撃試験対応、規格を選択して試験条件を簡単に作成できる「ランチャー」ソフトは実用的な機能として大変喜んでいただいております。

展示会は製品を囲んで、お客様から率直なご意見を聞くことができる大変貴重な場所です。その声を開発現場に反映させ、さらに良い製品づくりにつなげていければと考えております。



株主メモ

事業年度 10月1日から翌年9月30日まで

定時株主総会 12月中

定時株主総会の基準日 9月30日

配当金受領株主確定日 期末配当金 9月30日
中間配当を行う場合は 3月31日

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
(電話照会先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部
☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取扱事務は三井住友信託銀行株式会社の
全国各支店で行っております。

単元株式数 1,000株

上場証券取引所 東京証券取引所JASDAQ市場
(証券コード：7760)公告方法 電子公告の方法により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <http://www.imv.co.jp/>

■住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■未払配当金のお支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

IMV CORPORATION



この報告書は、環境に配慮し、
植物油インキを使用しております。

第69期報告書

IMV通信

平成26年10月1日 ▶ 平成27年9月30日

SECURE THE FUTURE
FIRST choice
for our partners

Future
Integrity
Reliability
Strength
Technology

IMV 株式会社
(証券コード：7760)

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第69期（平成26年10月1日から平成27年9月30日まで）IMV通信をお届けいたします。

平成27年12月

代表取締役社長

小嶋淳平

当連結会計年度の概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善により設備投資や雇用情勢の改善がみられる等、緩やかな回復基調が続いているものの、一部に弱さがみられております。また、海外経済におきましては、緩やかな回復がみられるものの、アメリカの金融政策正常化に向けた動きの影響や中国その他アジア新興国経済の先行き等、一部不透明さを残す状況となっております。

このような環境の中、当社グループは、振動シミュレーションシステムの販売をイギリス、ドイツをはじめとした欧州諸国においてさらに強化してまいりました。また、当社の主力製品であるシリーズの後継機として「新型振動シミュレーションシステムAシリーズ」及び低周波振動や微小振動を3軸同時に計測可能な「小型高性能振

動計測装置」を開発・製品化し、販売を開始いたしました。

業績面につきましては、振動シミュレーションシステムにおいて、自動車関連業界・航空宇宙関連業界を中心に順調に売上が推移し、前年同期を上回る売上高となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は9,170百万円となり、前連結会計年度と比べ1,306百万円の増収（対前年同期比16.6%増）となりました。利益面では増収効果により経常利益は1,400百万円となり前連結会計年度と比べ155百万円の増益（対前年同期比12.5%増）となり、当期純利益は902百万円となり前連結会計年度と比べ189百万円の増益（対前年同期比26.5%増）となりました。

次期の見通しにつきましては、雇用や所得環境の改善傾向が続く中、緩やかな景気の回復は継続するものと期待されますが、中国をはじめとするアジア新興国経済の減速等、世界経済が下振れするリスクが存在しているとみられる状況であります。

このような状況の中、当社グループは、振動シミュレーションシステムにおいては、昨年度に引き続き、海外及び多軸等の大型案件の受注が増加しつつあり、売上は順調に推移する予定であります。また、「新型振動シミュレーションシステムAシリーズ」の販売強化に取り組んでまいります。メジャリングシステムにおいては、小型高性能振動計測装置の販売活動を積極的に行います。テスト&ソリューションサービスにおいては、東京テストラボ

上野原サイト高度試験センターが平成27年11月より稼働し、売上に貢献する予定であります。一方で、海外事業への取り組みを行うため人員増加、設備・研究開発の積極的な投資、テスト&ソリューションサービスの設備増強に伴う減価償却費の増加等、今後の成長に不可欠な事業投資を積極的に行うための費用増加を見込んでおります。

以上により、売上高につきましては9,500百万円（前期比3.6%増）、経常利益1,250百万円（前期比10.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益800百万円（前期比11.4%減）を見込んでおります。

振動を計測するメジャリングシステム
連結売上高 **8億2,400万円**

（前年同期比4.1%減、売上構成比9.0%）

中国・台湾への地震監視装置の販売や、フィリピン・トルコでの市場開拓等、販路拡大に向けた活動を行いました。



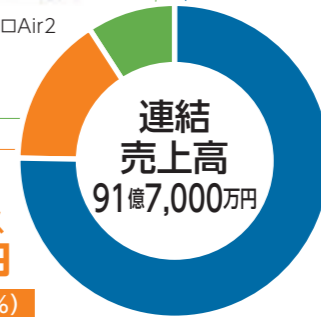
地震計測装置

カードパイプロAir2

振動を再現する振動シミュレーションシステム
連結売上高 **69億2,400万円**

（前年同期比21.9%増、売上構成比75.5%）

自動車関連業界を中心に温湿度・振動複合環境シミュレーションシステムの売上が依然として順調であり、中国や韓国に対する振動シミュレーションシステムの売上も増加しました。また、電機電子業界に対する売上の増加や航空宇宙関連業界において大型案件の売上を計上したこと等により、前年同期を上回る結果となりました。



連結
売上高
91億7,000万円

振動問題を解決する
テスト&ソリューションサービス
連結売上高 **14億2,000万円**

（前年同期比9.3%増、売上構成比15.5%）

自動車関連業界のHV・EV関連等を中心に、温湿度・振動複合環境シミュレーションシステムや大型試験機による試験が引き続き好調でありました。



鉄道車両用テストラボ設備



大型耐震試験式振動試験設備



Kシリーズ
（水冷式大型振動試験装置）



Aシリーズ
（ハイグレードタイプ振動試験装置）



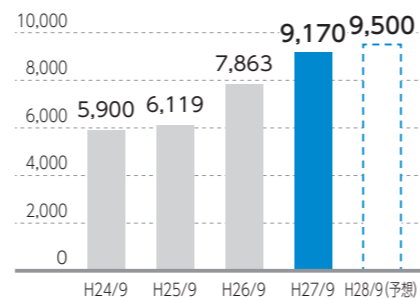
温湿度環境振動試験装置

Highlights

ハイライト

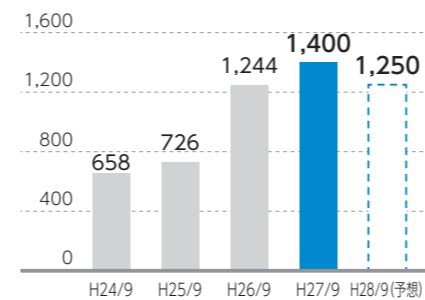
連結売上高

（単位：百万円）



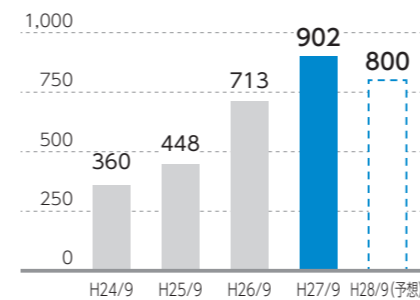
連結経常利益

（単位：百万円）

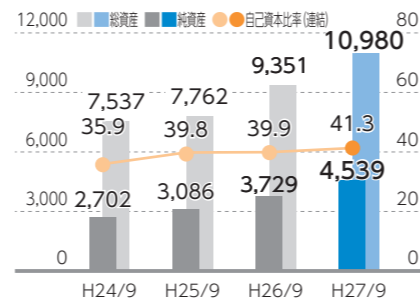


連結当期純利益

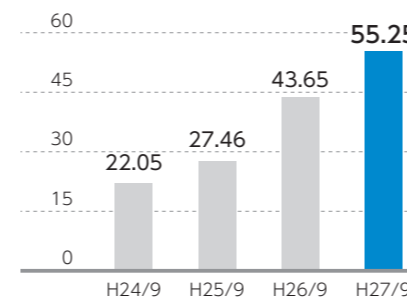
（単位：百万円）



総資産／純資産／自己資本比率(連結)
（単位：百万円） （単位：%）



1株当たり当期純利益(連結)
（単位：円）



連結海外売上高／輸出比率(連結)
（単位：百万円） （単位：%）

